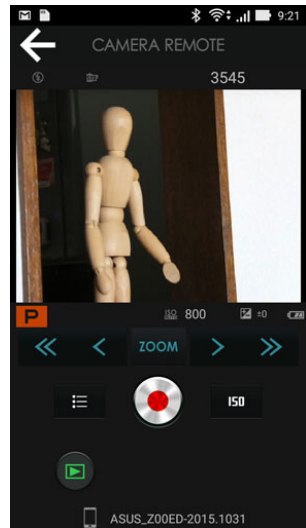


FinePix F1000EXR Notes

Makoto Ichikawa



FinePix FinePix 1000EXR とうまくつきあうコツ

■ 撮影モードなどの設定

画像サイズ：**S4:3 (2304×1728)** ; 気持ちのよい画質から
ISO 感度：**AUTO(400)** ; AUTO(800)、AUTO(1600)も使用
画質モード：N (初期設定のまま)
ダイナミックレンジ：AUTO (初期設定のまま)
撮影モード：**P** ; 被写体により EXR DR 他も使い分け
撮影画像表示：**拡大** ; 撮影した画像の素早いチェックのため
AF 補助光：OFF ; 節電のため (マナーモードも積極的に併用)

■ ズームレンズの積極利用

高画素数で撮影後、必要な範囲をトリミングという方法がありますが、本機では高倍率のズームレンズで必要な部分を切り取る手法がお勧めです。

■ セルフタイマー2秒の積極利用

望遠域 (静物) やマクロ撮影で手ブレが懸念される場合、**積極的にセルフタイマー2秒**を使用します。

■ 露出補正、カスタムホワイトバランスは積極的に利用

露出補正は積極的に使用します (少しアンダー目に撮ると良い結果となることが多い)。光源によりカスタムホワイトバランスを利用します。

■ 近接撮影能力は仕様 (マクロ [広角] 約 5cm) より強力

最短撮影可能範囲 (レンズの先端から) は約 2cm です。

■ スーパーiフラッシュの使いこなし

フラッシュ光の届く範囲は感度 AUTO で広角：約 15cm~**3.7m**、望遠：約 90cm~**2.4m**と短いことに留意する必要があります。

目次

はじめに	・・・	3
1. 導入の経緯	・・・	4
2. 設定	・・・	8
(1) 画質モード		8
(2) ズームレンズと絞り		10
(3) シャッター速度		12
(4) 測光方式		13
(5) フィルムシミュレーション		13
(6) 露出補正		14
(7) 連写		14
3. メモリーカード、アクセサリ	・・・	15
(1) SD メモリーカード		15
(2) 液晶保護フィルム		15
(3) カメラケース		15
(4) 三脚・一脚		16
(5) ホワイトバランスのカスタム設定用板		16
4. FUJIFILM Camera Remote	・・・	17
5. まとめ	・・・	21
■ FUJIFILM のデジタルカメラ使用歴	・・・	22
■ Maniac シリーズ		

はじめに



著者が現在、主に使用の FinePix HS50EXR, FinePix F1000EXR, FUJIFILM XQ1

[FinePix F1000EXR](#) は撮像素子として 1/2.3 型を使用の製品が多い中で 1/2 型を使用し、「フジノン光学式 20 倍ズームレンズ」の名称に対する信頼に依って高倍率ズームレンズでありながら比較的良好的な画質を提供し、スマートフォンのアプリ FUJIFILM Camera Remote と合わせてリモート撮影に対応するのが魅力の製品です。

この FinePix F1000EXR は富士フィルムの F シリーズの最後の製品として 2014 年 9 月に生産終了となり、既に 1.5 年を経てしまいました。著者は本冊子末尾のように使用のカメラを題材に電子本を執筆してきましたが、FinePix F1000EXR が漏れていました。そこで blog 『ロボット人間の散歩道』の [F1000EXR に関する記事](#) と既発行の ["FinePix F900EXR Notes"](#) をベースに本冊子をまとめました。

中身は薄いですが、楽しんでいただけたら幸いです。

著者

1. FinePix F1000EXR

(1) 導入の経緯



[FinePix F1000EXR](#)は「80年にわたり蓄積した色再現技術と高精度フジノンレンズが生み出す高画質」として著者が使用の [FinePix F900EXR](#)の発表時にはなかった見出しで2014年2月8日発売として1月23日に発表されました。その「リモート撮影機能」はとても気に入りましたが、F900EXRを使用中で、また、「Fシリーズがなくなる」とは考えていなかったため、その入手は急ぎませんでした。しかし、8月、F1000EXRのWebサイトを見ると「FinePix F1000EXR（ゴールド、ホワイト）は、生産終了いたしました」という文字を目にすることになり、9月にF1000EXRの出荷終了の表示を見ることになり、2014年11月には富士フィルムのデジタルカメラのWebサイトのトップページからFシリーズが消えたことを確認することになりました。

そこで「リモート撮影機能のあるF1000EXRが欲しい」で流通在庫を探し、カメラのキタムラのネットショップで「FinePix F900EXR（ブラック）の下取りも可」としてFinePix F1000EXR（ブラック）

が 18,900 円の特価で売られているのを見つけ、即、購入しました。

a. ズームレンズと撮像素子

FinePix F1000EXR は FinePix F900EXR に無線 LAN 通信機能を加えた製品といえ、「広角 25mm からのフジノン光学式 20 倍ズームレンズと 1600 万画素「EXR CMOS II」センサー、画像処理エンジン「EXR プロセッサーII」の搭載、世界最速 0.05 秒の高速 AF を実現」は共通します。F1000EXR のズームレンズのレンズ構成は 11 群 14 枚（非球面 6 面 3 枚、ED レンズ 2 枚）の焦点距離 4.6-92mm（35mm 判換算 25-500mm）、F3.5-F5.3 で光学式（撮像シフト方式）の手ブレ補正機能が内蔵されます。著者が [FinePix F300EXR](#) を入手の理由の撮像素子に[位相差 AF センサー](#)が内蔵されているのも共通で魅力です。

b. デザイン

FinePix F900EXR と FinePix F1000EXR は共通デザインでシャッターボタンはやや前方で斜めに配置され、人間工学に配慮されたデザインです。なお、F900EXR は高級感を演出するラバー塗装であるのに対して、F1000EXR はつや消し塗装です。ラバー塗装は使用劣化が目立つことから、著者には機能的なつや消し塗装で充分です。

寸法は（幅）105.1×（高さ）61.0mm×（奥行き）36.0 mm で強力な 20 倍ズーム（望遠端：35mm 判換算 500mm）を搭載しているのに関わらず、充分小さく設計されていると思います。質量（付属バッテリー、メモリーカード含む）は約 230g でズームレンズのことを考えれば充分、軽量です。

c. 操作性

FinePix F1000EXR は FinePix F900EXR とほとんど同じ操作インターフェースでバッテリー充電後、すぐ使い始めることができました。

メモ用カメラとしてマナーモード「ON」を常用としています。以前のカメラと比較すると、耳を寄せるとズームレンズの動作音がわかる程度で F900EXR と同様、メモ用カメラに適しています。

F1000EXR の液晶モニターは F900EXR と同様、「プレミアムクリア液晶」（約 92 万画素；縦横のドット数は未公開で 4：3 の比率から 1108×832 ドットと推定）で特殊フィルムの採用により視野角が広く、手を伸ばして高いアングルから撮影する時などにも使いやすいです。

d. 画質

F1000EXR は有効画素数 1,600 万画素とされますが、メモカメラの用途で F900EXR と同様に液晶ディスプレイで等倍で見て気持ちのよい記録画素数の [S] <4:3>2304×1728、ISO 感度は AUTO 400、画質は NORMAL に設定し、使用しています。

F1000EXR は「動画撮影時の AF 追従速度を F900EXR に比較して 30% 高速化、手ブレを F900EXR に比較して 50% 低減し、歩きながらもクリアな映像を簡単に撮影できます」とされますが、静止画に対する記載はありません。”[FUJIFILM XQ1 Maniac](#)” で F900EXR と XQ1 の解像度を比較し、F900EXR の広角側で画像周辺部の描写が甘くなることを確認しているため、「F1000EXR の画質の向上は」と少しだけ期待しましたが、「よくなったかな・・・」と思わせる時があるものの顕著な差はないようです（光学系・画像処理エンジンが同じですので当然といえば当然ですが）。

e. 撮影枚数

標準撮影枚数は仕様上、F900EXR の約 260 枚に対して、F1000EXR は約 290 枚とされ、性能向上しています。画像サイズ S4:3、画質モード N、マナーモード「ON」という FinePix F900EXR と同じ設定でフル充電後、418 枚の撮影ができました。記録画像サイ

ズなどの撮影条件も異なりますが、400 枚程度撮影できればメモカメラとして十分です。

f. ファームウェア

入手時のF1000EXRのファームウェアのバージョン1.10でしたが、その後、富士フィルムから「Windows10 搭載のパソコンと本機を USB 接続した際にカメラ内の画像をパソコンに転送できない現象を改善しました。」とする[ファームウェアの更新](#)のメールが入り、バージョン1.11 に更新しました。



著者使用のスマートフォン ASUS Zenfone 2 Laser

【リンク】

80年にわたり蓄積した色再現技術と高精細フジノンレンズが生み出す高画質 暗所や逆光でもオートで見たままに再現する独自開発のEXRセンサー搭載 光学20倍ズーム デジタルカメラ「FinePix F1000EXR」世界最速0.05秒の超高速AF！優れた高速性能で機動的に撮影できる 新発売：ニュースリリース | 富士フィルム http://www.fujifilm.co.jp/corporate/news/articlefnr_0840.html

FinePix F1000EXR のファームウェアの更新：概要 富士フィルム <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/finepix/f1000exfirmware/download001.html>

2. 設定

FinePix F1000EXR の使用説明書の 84 ページの「画像サイズ」の文中に「画像サイズが大きいほど画質が良くなり、小さいほど多くの枚数を記録できます。」と記載されます。文章を素直に読み、画質を優先させたい人は、間違いなく L の設定を行うと思いますが、PC のディスプレイで等倍の撮影画像を見るとがっかりさせられます。上記の記述、プリント出力を想定した表現と理解した方がよさそうです。

「PC の液晶ディスプレイ上で撮影画像を等倍で見ても気持ちがよい」を条件に撮影サイズ S4:3 (2304×1728)、ISO 感度は常用 AUTO (400)、手ブレが懸念される場合は AUTO (800)、記録優先は AUTO(1600) と使い分けています。なお、タイマー 2 秒を積極的に使用することで手ブレ補正機能の効果から AUTO(400) でも手振れの感じられない写真が多く撮影できています。

画像サイズ：S4:3 (2304×1728) ; 画質面から

画質モード：N (初期設定のまま)

ISO 感度：AUTO(400) ; 場合により AUTO(800)、AUTO(1600)

ダイナミックレンジ：AUTO (初期設定のまま)

撮影モード：P ; 場合により EXR DR

撮影画像表示：拡大 ; 撮影した画像の素早いチェックのため

AF 補助光：OFF ; 節電のため (マナーモードも積極的に併用)

(1) 撮影モード

表 1 に FinePix F1000EXR の撮影モードをまとめます。

表 1-1 FinePix F1000EXR の撮影モード

撮影モード			
P	P (シャッター速度と絞り値を自動設定)		
A	設定した絞り値にあわせ、シャッター速度が自動設定		
S	設定したシャッター速度にあわせ、絞り値が自動設定 AUTO(400) / AUTO(800) / AUTO(1600) / AUTO(3200)		
M	シャッター速度と絞り値を撮影者が設定		
 AUTO	カメラまかせで撮影		
EXR	EXR AUTO	(カメラが自動で撮影シーンと最適な EXR モードを設定)	シーンを認識しない場合 青空、緑、青空&緑、動体、人物&動き、逆光人物&動き、インテリジェントブレ防止(連写撮影)、マクロ、逆光&人物、そして SP の (EXR AUTO) の撮影シーンと最適な EXR モードを設定
	EXR HR (高解像度優先)		(EXR 優先モードと総称)
	EXR SN (高感度低ノイズ優先)		(EXR 優先モードと総称)
	EXR DR (ダイナミック優先)		(EXR 優先モードと総称)
SP	人物 (EXR AUTO)		
	美肌		
	風景 (EXR AUTO)		
	スポーツ		
	夜景 (EXR AUTO) (EXR AUTO)		
	夜景 (三脚)		
	花火		
	夕焼け (EXR AUTO)		
	スノー (EXR AUTO)		
	ビーチ (EXR AUTO)		
	水中		
	パーティー		
	花の接写		
文字の撮影			
高感度 2 枚撮り			

表 1-2 FinePix F1000EXR の撮影モード

Adv	アドバンスフィルター（トイカメラ、ミニチュア、ポップカラー、ローキー、ダイナミックトーン、ソフトフォーカス、パートカラー（レッド）、パートカラー（オレンジ）、パートカラー（イエロー）、パートカラー（グリーン）、パートカラー（ブルー）、パートカラー（パープル）、）
	ぐるっとパノラマ 360°
	ぼかしコントロール
	連写重ね撮り
	多重露出

(2) ズームレンズと絞り

FinePix F1000EXR は F900EXR と同様、ズームレバーを操作すると倍率が一瞬、表示され、ステップ的に動きます。このステップ数は 39 です。表 2 にズームレンズの停止位置で表示される倍率、その位置で撮影した Exif 情報の焦点距離、35mm 判換算の焦点距離（焦点距離×5.4348）、絞り値をまとめます。

撮影モード A で表 2 のように F1000EXR は F900EXR と同様、3 段階の絞り設定が可能です。絞りは開放の状態から、まず、ND フィルター（ND4 相当）で絞られ、次に絞り穴で絞られる構造です。このため、被写界震度が深くなるのは最も絞った段階となります。

表 2 ズーム倍率と 35mm 判換算の焦点距離、絞り値

倍率	焦点距離	35mm 換算	絞り値		
			開放絞り	中間	最小絞り
1.0	4.6	25	3.5	7.1	10
(1.05)	4.8	26	3.6	7.1	10
1.1	4.9	28	3.7	7.1	10
(1.15)	5.1	29	3.7	7.1	10
1.2	5.4	30	3.7	7.1	10
(1.25)	5.7	31	3.7	7.1	10
1.3	5.9	33	3.7	7.1	10
(1.35)	6.2	34	3.7	7.1	10
1.4	6.5	35	3.8	8	11
1.5	6.9	38	3.8	8	11
1.6	7.2	40	3.8	8	11
1.7	7.6	43	3.9	8	11
(1.75)	7.9	44	3.9	8	11
1.8	8.3	45	4.0	8	11
1.9	8.7	48	4.0	8	11
2.0	9.2	50	4.1	8	11
2.2	10.0	55	4.2	8	13
2.4	11.0	60	4.3	9	13
2.7	12.3	68	4.5	9	13
3.0	13.7	75	4.6	9	13
3.3	15.3	83	4.7	9	13
3.7	17.0	93	4.9	10	14
4.2	19.1	105	5.0	10	14
4.7	21.6	118	5.2	10	14
5.3	24.4	133	5.3	10	14
6.0	27.6	150	5.4	11	16
6.9	31.6	173	5.6	11	16
7.9	36.3	198	5.8	11	16
9.0	41.5	225	5.9	11	16
10.0	48.0	250	6.0	13	16
12.0	54.2	300	6.1	13	16
13.0	60.4	325	6.1	13	16
14.0	65.8	350	6.0	13	16
15.0	69.7	375	6.0	13	16
16.0	73.3	400	5.9	11	16
17.0	78.0	425	5.9	11	16
18.0	83.6	450	5.8	11	16
19.0	87.5	475	5.6	11	16
20.0	92.0	500	5.3	11	16

- 1.05, 1.15, 1.25, 1.35, 1.75 倍は表示されず、1.0, 1.1, 1.2, 1.3, 1.7 の表示のまま。
- 太字は「定点撮影のために覚えておくといいな」と思う倍率
- F 値が表のように 35mm 換算 300mm 辺りで F6.1 まで大きくなり、以降、下がって望遠端では仕様に記載の F5.3 になることをお教えいただきました。一般にズーム倍率が高くなるほど、F 値が大きくなると理解されていますので、この特性は覚えておく必要があります。

(3) シャッター速度

表 3 撮影モードとシャッター速度

撮影モード	シャッター速度
M	[ISO 100] 8", 6.5", 5", [ISO 200] 4", 3", 2.5", [ISO 400], 2", 1.5", 1.3", [ISO 800] 1", 1/1.3, 1/1.6, [ISO 1600/3200/6400] 1/2, 1/2.5, 1/3, [ISO 12800] 1/4, 1/5, 1/6, 1/8, 1/10, 1/13, 1/15, 1/20, 1/25, 1/30, 1/40, 1/50, 1/60, 1/80, 1/100, 1/125, 1/160, 1/200, 1/250, 1/320, 1/400, 1/500, 1/640, 1/800, 1/1000, 1/1200, 1/1600, 1/2000
S	[AUTO(400)] 2", 1.5", 1.3", [AUTO(800)] 1", 1/1.3, 1/1.6, [AUTO(1600/3200)] 1/2, 1/2.5, 1/3, 1/4, 1/5, 1/6, 1/8, 1/10, 1/13, 1/15, 1/20, 1/25, 1/30, 1/40, 1/50, 1/60, 1/80, 1/100, 1/125, 1/160, 1/200, 1/250, 1/320, 1/400, 1/500, 1/640, 1/800, 1/1000, 1/1200, 1/1500, 1/1600, 1/2000
SP (花火)	4", 3", 2.5", 2", 1.5", 1.3", 1", 1/1.3, 1/1.6/ 1/2
その他	1/4~1/2000 秒の範囲で自動設定

FinePix F1000EXR はメカニカルシャッター併用で撮影モードによって表 11 のシャッター速度の設定 (M、S、花火以外は自動設定) が可能です。なお、自動設定される撮影モードでの最長シャッター速度が **1/4 秒** ということをお忘れ、P モードで ISO と画質の実験をし、シャッター速度が 1/4 秒以下にならないため、ISO が低いほど暗い画像を撮ってしまったことがあります。**要記憶**です。

F1000EXR、構図に気をとられているうちに望遠域に入り、F 値も明るいとはいえないため、シャッター速度が遅くなって手ブレ写真を産んでしまうことがあります。室内などの暗い条件では、液晶モニターに表示のシャッター速度を確認し、撮影感度の変更、身体を壁などにつけての手ブレ低減、**セルフタイマー2 秒 (シャッターボタンを押すのに起因する手ブレの防止)** を組合せ、また、SETUP の「撮影画像表示」で撮影直後の画像を拡大してピントの状態をすぐチェックできる「拡大」に設定して、撮影後の画像の手ブレの有無のチェックが有効です。

(4) 測光方式

表 4 測光方式

測光モード	概要
マルチ	シーン自動認識で様々な撮影状況に対して適正な露出が得られる
スポット	画面中央部の露出を最適にする
アベレージ	画面全体を平均して測光。白や黒の服を着た人や風景の撮影に適する。

F1000EXR は表 4 の測光方式が設定可能です。液晶モニターの被写体の表示を見て積極的に露出補正することをお勧めします。なお、撮影モードが AUTO、EXR AUTO、Adv、SP では測光モードのスポット、アベレージを設定できません。

(5) フィルムシミュレーション

フィルムシミュレーションモードは FinePix S100FS で初めて搭載された機能で、F1000EXR では PROVIA、Velvia、ASTIA、B&W、セピアの設定が可能です（表5）。なお、撮影モードが EXR AUTO、SP（高感度 2 枚撮りとナチュラルフォトを除く）ではフィルムシミュレーションの Vivid、ASTIA は設定できません。また、撮影モードが EXR-DR で PROVIA の設定ではダイナミックレンジ 1600% の設定が可能です。Velvia、ASTIA では 400% までとなります。

表5 フィルムシミュレーション

フィルムシミュレーション	特徴
PROVIA/スタンダード	スタンダードな発色と階調で、見た目通りの自然な色再現を求める際に最適。
Velvia/ビビッド	青空をより青く、夕焼けをより赤く、また花の色をより鮮やかに表現したい時に最適。
ASTIA/ソフト	しっとりとした山岳風景や花びらの微妙な色調など、落ち着いた発色を求める際に最適。
B&W (Black&White)	階調豊かなモノクロ撮影
セピア	温かみのある、やわらかなセピア調に撮影

- PROVIA、Velvia、ASTIA の特徴の説明は FinePix S100FS より抜粋

表 6 EXR の撮影モード

撮影方式	概要
EXR SN 高感度・低ノイズ優先	最高感度 ISO 3200 で、従来以上にノイズを抑えながら解像感を損なわない、クリアな高感度画像を実現。室内や夜景などの光量が足りないシーンもきれいに撮影
EXR DR ダイナミックレンジ優先	ダイナミックレンジ 1600%まで設定することができ、明暗差が大きい屋外のシーンでも、白とびや黒つぶれを抑制し、豊かな階調を実現
EXR HR 高解像度優先	有効画素数 1600 万画素をフルに活用した高解像度を実現。木々の葉や人物の髪の毛など、より微細な表現が可能

(6) 露出補正

±2EV の範囲で露出補正できます。撮影モードが AUTO、EXR AUTO、M、SP（花火）では露出補正できません。

使用説明書で書かれた逆光の人物撮影では $+2/3 \sim 1^2/3$ EV、スキー場などの反射が強く明るい場合や画面の大部分を空が占める場合は+1EV、暗い背景でスポットライトを浴びた場合や常緑樹や色の濃い葉などの反射率が低い場合は $-2/3$ EV を覚えておくとよいです。

(7) 連写

F1000EXR には表 6 に示す 1 コマ撮影以外に 5 種類の連写があります。

表 6 連写の種類

連写の種類	概要
1 コマ撮影	
連写	3fps, 6fps, 11fps, 16fps
前後撮り連写	
AE ブラケティング	±1, ±2/3, ±1/3
フィルムシミュレーション BKT	
ダイナミックレンジ BKT	

3 メモリーカード、アクセサリ等

(1) SDメモリーカード

[FUJIFILMのWebサイト](#)で「対応動作確認済み SD メモリーカード」としてSDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカードが示され、FUJIFILM製/SanDisk製のメモリーカードが推奨され、「HD動画、ハイスピード動画を撮影する時は、**SDスピードクラス10以上のメモリーカードをご使用ください。**」と記されています。

(2) 液晶保護フィルム



FinePix F1000EXRの液晶モニターはボディと面一のデザインです。このため、液晶面を下に向けて机の上においた場合、机の上の砂粒などで液晶面を傷つける可能性があります。そこで液晶保護フィルムに液晶クリーニングペーパー付のFINEPIX F1000EXR専用液晶保護フィルム DGF-FFF1000([ハクバ](#))を用いています。

(3) カメラケース



FinePix F11用に入手したピクスギア ツインパック マイクロ (HAKUBA) を再使用し、FinePix F F1000EXRとカメラケースをコイルストラップで結び、ネックストラップを首に掛けて使用するスタイルにしました。

(4) 三脚・一脚



SPRINT PRO (SLIK)
全高 163.5cm、EV スライド 30cm、
縮長 48cm、重量 0.89kg



コンパクト三脚 DCA-016BK
(ロアス)
147x40x18[mm], 73[g]

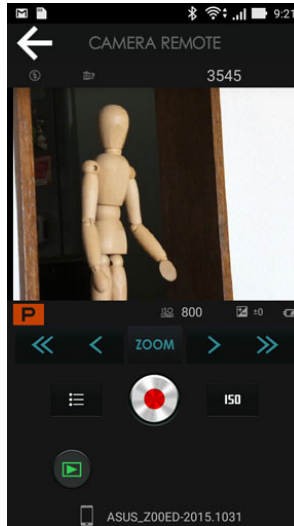
FinePix F1000EXR、手ブレ補正機能とタイマー2秒の組み合わせでシャッター速度 1/4 秒でも何枚か撮影すれば、使える絵が撮れる場合が多くあり、メモ用カメラという用途もあり、三脚・一脚を一緒に持ち歩くことはありません。参考までに”[Tripod Maniac](#)”で解説の FinePix F1000EXR で使用できる三脚・一脚を上を示します。

(5) ホワイトバランスのカスタム設定用板



ホワイトバランスのカスタム設定用のアクリル板、著者はコーミンさんの『[Komin's Photo Blog](#)』を参考に 300mm×300mm×厚 2mm の乳半色のアクリル板(アクリライト、三菱レイヨン(株))を入手し、簡易定規としても使えるように 50mm×100mm の寸法にカットし、角を丸くし、持ち運び用に孔を空けたものを作りました。使用方法はこの乳半色のアクリル板越しにレンズで光源を見てカスタムホワイト設定します。

4. FUJIFILM Camera Remote



著者はスマートフォンとして [ZenFone 2 Laser](#) を使用しています。そしてアプリの [FUJIFILM Camera Remote](#) をインストールしました。これにより、ZenFone 2 Laser のディスプレイを見ながら

FinePix F1000EXR のズーム操作（速度 2 段階）、感度、フィルムシミュレーション、ホワイトバランス、マクロ、セルフタイマーの設定が可能となりました。さらに ZenFone 2 Laser の位置情報を FinePix F1000EXR の位置情報サーチ機能で撮影画像に設定することも可能となり、FinePix F1000EXR が強力な撮影機材に変身しました。

また、FUJIFILM Camera Remote により、カメラ内の画像を 1 コマずつ送信したり、スマートフォン（タブレット）の大きな画面で閲覧・受信（最大 30 枚一括受信可能）することが可能になりました。

【リンク】

FUJIFILM スマートフォン/タブレット PC/PC 用アプリケーション
http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/index.html

■ 作例など



2015年7月25日21:45、住処の近くで夜空に明るい物体が見え、「月とは違う形だなあ」でよく見ると飛行船でFinePix F1000EXRで撮影し、住処に帰って調べると飛行船「スヌーピーJ号」とわかりました。そして翌日、「飛行船一般公開イベント」を楽しみました。





東京スカイツリー（言問橋から撮影）



FinePix F1000EXR の first light （上は望遠端（デジタルズームなし）、下は 4M で撮影した画像を等倍でトリミング）

5. まとめ

著者の常時携行のメモ用カメラは、FinePix F1000EXR と 2014 年 7 月に画質向上と暗い条件での撮影領域を拡大するために入手した FUJIFILM XQ1 です。使用目的によって一方を選択、あるいは両機を携行する場合があります。F1000EXR は 35mm 判換算 500mm という強力な望遠がメモ用カメラとして遠くの被写体を撮影するのに活躍してくれます。

F1000EXR と同じ撮像素子を使用すると考えられる FinePix HS50EXR は 35mm 判換算 1,000mm の望遠に対応し、得られる画像は「レンズが大きいだけある」を実感させてくれます。無論、F1000EXR の画像、著者のようにリサイズして報告書などに使用する目的であれば上記のように強力な望遠を用いることで充分以上の画質を提供してくれます。

FinePix F1000EXR はそのポジショニングとしては普及価格帯のコンパクトデジタルカメラかもしれませんが、リモート撮影への対応など、F シリーズの集大成として開発者の力のこもった製品であるのは間違いありません。

■ FUJIFILM のデジタルカメラ使用歴



著者の所有する富士フィルムのデジタルカメラは2016年4月現在、上の写真の状況にあります。次に著者と富士フィルムのデジタルカメラの使用歴を振り返ってみます。

最初に入手した富士フィルムのデジタルカメラは [FinePix 700](#) でした。しかし、電源 ON からシャッターが押せるまで待ち時間が長く、1枚撮影すると次の撮影が可能になるまでかなり待たされ、シャッターチャンス逃すことが多く、「Slim T (京セラ) の代わりに持とう」にはなりません。そして [CoolPix 950](#) (Nikon) を使い始めて「これならば！」でデジタルカメラを積極的に使うようになり、続いて [CoolPix 4500](#) を使いましたが、室内などの薄暗い条件での撮影に限界を感じました。そこに富士フィルムの [FinePix F10](#) が「手ブレ・被写

体ブレに強く、暗いところでもきれいに撮れる超高感度デジタルカメラ」として登場しましたが、撮影モードが AUTO のみで触手は動かず、FinePix F10 と同様に「スーパーCCD ハニカム V HR」と「リアルフォトエンジン」搭載がうたわれ、各種の撮影モードに対応し、高倍率ズームが魅力で [FinePix S9000](#) を 2005 年に入手しました。ただ、F10 の撮像素子 (1/1.7 型、総画素数 663 万画素) に対して S9000 の撮像素子 (1/1.6 型 ([FinePix S6000fd](#) と同じ光学系を使用していることから実際の使用は 1/1.7 型の領域と推定される)、有効画素数 903 万画素) は 1 画素の受光面積が少ない別物で、感度 ISO 400 以上の画質は期待が大きかっただけにがっかりさせられました。

撮影モードの増えた F10 の後継機の [FinePix F11](#) の登場で「これならば！」で購入し、室内撮影での画質向上に嬉しくなりました (Nikon の CoolPix 775 用アダプタリングを改造して CoolPix のコンバージョンレンズを流用し、デジスコ対応に)。FinePix F11 に続いて [FinePix F31fd](#) (デジタルカメラの改造の面白さを目覚めさせてくれたカメラ)、[FinePix F100fd](#) (手ブレ補正機能内蔵でタイマー 2 秒併用による夜景の撮影の面白さを教えてくれたカメラ。FUJIFILM XQ1 購入資金の一部になり、上の写真に含まれず)、[FinePix F200EXR](#) (フィルタネジを付加し、自作アダプターでシステムカメラ化)、[FinePix F300EXR](#) (最後の“位相差画素”組込みの「スーパーCCD ハニカム EXR」のカメラで安価だったこともあり、バックアップに 1 台入手して 2 台所有。フィルタネジを付加し、自作アダプターでシステムカメラ化)、[FinePix F900EXR](#) (FinePix F1000EXR 購入資金の一部になり、上の写真に含まれず)、[FinePix F1000EXR](#)、[FinePix HS30EXR](#)、[FinePix HS50EXR](#)、[FUJIFILM XQ1](#)、[FUJIFILM XQ2](#)、[FUJIFILM X-M1](#) と FUJIFILM 機を入手してきました。Nikon、Olympus、PENTAX のカメラも使っていますが、14 台という台数からは FUJIFILM 党・・・。

FinePix F シリーズはメモ用カメラとして常時携行し、1 年の保証期

間に近くなると撮影枚数も 1 万枚ほどとなります。F200EXR でズームレバーの使用劣化と思われる不調を発生したため、「保証期間内に」と[東京サービスステーション](#)に持ち込んで修理したことから「このズームレバーの形式のカメラは消耗品のつもりで 1 年を目処に更新を」と考えるようになりました。財布への負担を軽減するため、新機種発表前後で販売価格が大幅に下がった時に入手するように努めてきましたが、その結果が上のトレイに載せられたカメラ達です (^_^;

FUJIFILM はデジタルカメラの厳しいマーケット環境から、STYLISH & TOUGH という防水機能もある [FinePix XP90](#) を除いて、APS-C サイズのプレミアム X シリーズに軸足を移しました (X シリーズに入手しやすい価格帯のモデルとして [FUJIFILM X-A2](#) のダブルズームレンズキットが継続販売されているのは少し安心ですが・・・)

FinePix F11 は「バッテリーを外すと時計がリセットされてしまう」というコンデンサ回りと思われる不調を抱えています。他の機種と同様に現在も撮影に利用できます (ただ、F31fd と比べると色の深さ面で時代を感じさせます。F11 にこの不調はありますが、FinePix F シリーズは私の所有する CoolPix 機よりバッテリーの持ちがよい美点があります)。F31fd はデジスコのバックアップカメラのため、メモ用カメラとしてのお役目からは外しています。FUJIFILM から気軽に携行できるコンパクトデジタルカメラが消えた現在、上のカメラたちを大切に使いいかねば・・・」です (メモ用カメラとして常時携行するのがお役目のため、書いていることとやっていることに矛盾がありますが・・・ (^_^;))。

■ Maniac シリーズ

[FinePix S9000 Maniac](#)

[FinePix F31fd Maniac + F11](#)

[FinePix F100fd Maniac](#)

[FinePix F200EXR Maniac](#)

[FinePix F300EXR Maniac](#)

[FinePix F900EXR Notes](#)

[FinePix F1000EXR Notes](#)

[FinePix HS30EXR Maniac](#)

[FinePix HS50EXR Maniac](#)

[FUJIFILM XQ1 Maniac](#)

[FUJIFILM X-M1 Maniac](#)

[COOLPIX P5100 Maniac](#)

[COOLPIX P330 Maniac](#)

[Conversion Lens Maniac- コンバージョンレンズの活用 -](#)

[Tripod Maniac - B 級 \(? \) 三脚選び -](#)

[Step-Up, -Down Rings Maniac](#)

[TS-613 & TSN-664 Digiscoping Maniac](#)

[Papilio 6.5x21 Maniac](#)

[HYBRID W-ZERO3 Maniac](#)

[ZenFone 2 Laser Maniac](#)

[ASUS VivoTab Note 8 notes](#)

[m-Stick MS-NH1 notes](#)

[LaVie Light BL350-CW Maniac](#)

[PJ-20 Maniac](#)

[VT250 Spada Maniac](#)

[WACHSEN BA-100 Agriff Maniac](#)

[Audiovisual Equipment notes - Loudspeakers -](#)

[REGZA 32ZP2 and TVs note](#)



『FinePix F1000EXR Notes』

2016年4月16日発行、初版a（2016年4月17日）

著者：市川 誠 (maktich@pa2.so-net.ne.jp)

ロボット人間の散歩道：So-net ブログ

<http://robotic-person.blog.so-net.ne.jp/search/?keyword=f1000exr>